

# 順天堂大学練馬病院・外科だより

## 小児に対するロボット支援手術

2009年に本邦でda Vinciが薬事承認され、2012年に前立腺全摘術が保険適応となったのを契機に我が国のロボット支援手術件数は飛躍的に増加しています。小児外科領域でのロボット支援手術は未だ限定的ではありますが、2020年に腎盂形成術、2022年に腹腔鏡下総胆管拡張症手術が保険収載され、今後も成人外科領域との共通疾患からさらに適応が広がることが期待されます。ロボット手術では、開腹手術と同等、それ以上の緻密な運針・縫合を腹腔鏡手術と同じ小さい創から行うことが可能であり、開腹手術と腹腔鏡手術の‘いいとこどり’といえます。低侵襲が求められ、緻密な吻合が必要となる小児外科手術にとってメリットが大きいと考えます。

順天堂大学小児外科では、ロボット支援小児外科手術を全国に先駆けて実施しており、練馬病院小児外科においても、2021年12月よりロボット支援手術を導入しました。現在、順天堂練馬病院小児外科ではda Vinci Certificate取得者2名を有し、水腎症(腎盂尿管移行部狭窄症)に対し、ロボット支援後腹膜鏡下腎盂形成術を行っています。ご紹介、お問い合わせお待ちしております。



順天堂練馬病院 小児外科 田中奈々

## 呼吸器外科ダビンチ手術100例達成しました！

2021年2月より縦隔腫瘍に、7月より肺癌に対してダビンチによるロボット支援下手術を導入しました。お陰様で2022年10月に手術症例100例を達成いたしました。全例で大きな合併症なく経過し、元気に外来通院して頂いています。

当科は常勤4名、呼吸器外科専門医3名、ダビンチパイロット3名(うち指導者2名)の経験豊富なスタッフが在籍しており、手術だけ参加するような医師はおりません。術前、術中、術後、全ての状況において、また様々な術式に対応して、呼吸器外科専門医による安全、確実、誠実な医療を提供することをモットーに運営しております。

胸部疾患でお力になれる症例がございましたら、内科外科症例問わず、まずはご紹介ください。最善の治療を提示させていただきます。



順天堂練馬病院 呼吸器外科科長 阪野孝充